

江東区とうきょうすくわくプログラム活動報告書

施設所在地	江東区豊洲4-5-8
施設名	社会福祉法人景行 豊洲保育園

1 活動のテーマ

〈テーマ〉

絵本づくりと表現活動（色の探索）

〈テーマの設定理由〉

絵本に関心を持ち、絵本の世界を楽しみ表現活動につなげる。

2 活動スケジュール

・昨年からの取り組みから、絵本への興味・関心を持てるようになってきたので、仲間と絵本の楽しさを共有し、遊びや造形活動に発展させる。

①仲間との共有  
絵本の読み聞かせから、同じ絵本の世界を一緒に楽しむことで、絵本の描写や物語から感じたこと、分かったこと、想像したことを言葉にして仲間と共有する。

②表現活動への発展  
絵本の内容からは、ごっこ遊びやいろいろな素材を使って造形活動に発展して楽しむ。

③色描画、造形への関心を深める活動をする。

3 活動のために準備した素材、道具及び環境の構成

- ・教材…いろいろな素材（紙製品、布、木製、描画材料） 顕微鏡、
- ・絵本…物語絵本、科学絵本、図鑑
- ・集中して活動に取り組める空間づくり（パーテーション、段ボール製コーナー）

#### 4 探究活動の実践

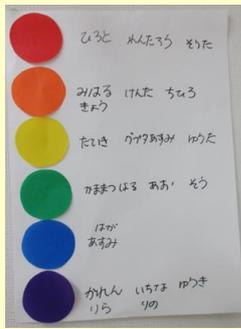
##### 〈活動の内容〉

- ①絵本の読み聞かせ
- ・絵本の読み聞かせ後に、子どもたちが面白いと感じたこと、物語の続きを想像してお話の続きを想像したり、「なぜこうなったのか？」を考えたりしたことについて話し合う機会を作った。
  - ・絵本の世界を再現したくて、ごっこ遊びに発展し、劇ごっこをクラスで作上げた
  - ・月刊絵本を配る際に、絵本のお店とお金を作り絵本屋ごっこをした。
- ②造形活動（色の探索）
- ・好きな色を選びグループをつくり、テーマの色から“どんな印象や感じを受けるか”、“どんな物が日常生活品にあるか”“どのような作品う作りたいか。”を話し合い、色の素材を使い、共同での制作を楽しんだ。
  - ・色水づくりでは、少量の色水の混色活動試み、色への探索を。心を深めていった。

##### 〈活動中のこどもの姿、声、こども同士や保育者との関わり〉

- ・読み聞かせ…毎月の読み聞かせ絵本を子どもたちは楽しみにて、集中して話を見たり、聞いていた。中には題材の関心が薄い子は途中から見なくなることもあったが、友だちの感想絵本の描写から細かい情報を発見している反応を聞くと、新たに関心が向いていた。
- ・物語絵本のストーリーから、“絵本の世界の出来事をごっことして遊びたい”思いからごっこ遊びに発展した。
- ・科学絵本の生き物に関心を持ち、図鑑で調べた知識を友だちに伝えていら。また、数字、文字への関心が深まり、数字をデザインをして使って絵を描いたりといった。
- ・色のテーマ共同での制作活動は、お互いのアイデアの意見が合わなくても、作りながら一緒に組み合わせ工夫をしていた。あるグループはペープサートの作品を作り上げ、ストーリーを考え、シアターを作り演じていた
- ・色の探求…いろいろな色の共同作品を作ったり、色水をつくり、色の名前をつけて、同系色のグループ分けをしてそこにタイトルを作り色見本の絵本を作った。

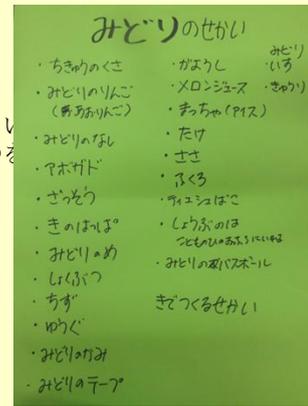




活動等



さいのる



## 5 振り返り

〈振り返りによって得た先生の気づき〉

- ・子どもたちは、この一年で絵本への関心が深まり、友と一緒にいろいろな表現活動に広げ、楽しさの共有、造形をより自由に表現する楽しさの経験をしてきた。
- ・少人数での話し合い、活動のなかで自分を発揮して、受け入れ合うことで、仲間の刺激から探求心が高まった。ままごと遊びの中でのグラデーションを意識した美しいランチメニューを作ったり、きれいな色の組み合わせの絵画を書いたりしていた。対話する経験ができた。
- ・グループでの話し合いから、自分だけのイメージを押し通すだけでなく、相手の思いも取り入れて納得する場面も見られた。対話する経験から新しいアイデアに変化する面白さにも価値を見出せるようになっていった。